

kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.79

第53期(2017年10月期)第1四半期号

Message from the New President

カナモトの新社長から皆様へ

株式会社カナモト
代表取締役社長

金本 哲男



2016年11月に金本哲男が代表取締役社長に就任いたしました。本ページでは新社長としての所信を金本哲男本人がお伝えいたします。

新社長としての思いを語ってください。

まずは、2019年10月期（第55期）を目標年に据えた新長期経営ビジョン「BULL55」を確実に遂行し、強固な収益基盤の構築に努めます。現在、当社は2,000社余りあるといわれている建機レンタル業界のなかで、規模的にも比較的優位な立場にあると目されていますが、現状に満足せず更なる高みを目指したいと考えています。

また、重要な社会インフラのひとつとなった建機レンタルビジネスの中心的企业としての自覚を持ち、「BULL55」の理念である「高収益を基盤として、株主、取引先、社員に報いる良質で強力な企業集団」を常に念頭に置き、建機レンタルといえばカナモトと言っていただけるようなブランドの構築を実現します。

今後も、総合的な企業価値の向上に努め、あらゆるステークホルダーのご期待に添えるよう役職員一丸となって努力していきます。

Photo Report カナモトグループの震災対応：各地で進む復興工事



岩手県下閉伊郡山田町の防災集団移転工事



岩手県大船渡市のURまちづくり工事



宮城県杜鹿郡女川町の造成工事



宮城県気仙沼市の鹿折川護岸工事



宮城県気仙沼市の前浜防潮堤復旧工事



宮城県気仙沼市の三陸沿岸道路工事



宮城県亶理郡亶理町の旧荒浜排水機場撤去工事



宮城県本吉郡南三陸町の南三陸道路工事



宮城県本吉郡南三陸町の道路改良工事



宮城県本吉郡南三陸町の大川災害復旧工事



宮城県石巻市の長塩災害復旧工事



宮城県石巻市の二子造成工事

第53期第1四半期決算の概況 [平成28(2016)年11月1日～平成29(2017)年1月31日まで]

● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第53期第1四半期	38,937 (11.0)	4,490 (10.3)	4,848 (19.3)	3,128 (23.5)	88.52
第52期第1四半期	35,079 (△3.4)	4,069 (△35.5)	4,063 (△36.2)	2,533 (△37.6)	71.70

● 連結業績予想

第53期第2四半期	77,000 (12.2)	8,410 (△2.3)	8,190 (△0.7)	4,950 (△0.4)	140.07
第53期通期	153,000 (5.6)	15,820 (4.5)	15,580 (8.2)	9,460 (16.8)	267.69

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費に足踏みが見られるなど一部に弱さもありましたが、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の政権移行、中国及び新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等による国内景気への影響が懸念され、依然として慎重な姿勢を要求される局面が続きました。

[第1四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の継続に加え、公共投資も経済政策により堅調さを維持するなど、総じて底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは継続的發展を目指した長期経営ビジョン「BULL55」の諸施策を粛々と遂行しております。併せて高収益確保へ向けた既存資産の再配置を適宜行っており、これらの施策を一層確実なものとするために資産の効率的稼働を目的とする新システムの構築も進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は389億37百万円(前年同期比11.0%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は44億90百万円(同10.3%増)、経常利益は48億48百万円(同19.3%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億28百万円(同23.5%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、首都圏における

東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ再整備を中心に、建設需要は底堅く推移しました。また、昨年熊本地方で発生した地震や、北海道で発生した豪雨災害による災害復旧活動の支援にも努めました。なお、前連結会計年度の第3四半期から九州地区最大手の(株)ニシケン(本社：福岡県久留米市)の業績を連結に加えたことにより、当第1四半期連結累計期間では九州地区の売上高、営業利益ともに大きく増加しました。

また、当社では適正な資産構成の維持を目的として、一定期間を経年したレンタル用資産を売却しております。当第1四半期における資産売却に伴う売上高は、災害復旧対応のため資産売却を当第2四半期以降に移行したことから前年同期比56.2%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は355億38百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は40億70百万円(同4.4%増)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに前年並みで推移しましたが、福祉関連が加わったことから売上高は33億99百万円(前年同期比33.8%増)、営業利益は3億17百万円(同372.3%増)となりました。

[事業所数の増減]

当第1四半期連結会計期間における拠点の新設は1拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

新設：久慈営業所(岩手県久慈市)

■ 四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書(累計)

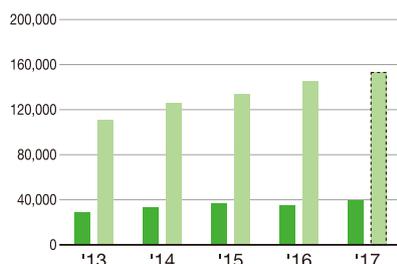
(単位:百万円)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)	第53期第1四半期 (2016.11.1~2017.1.31)
① 売上高	35,079	38,937
売上原価	24,782	26,806
売上総利益	10,297	12,130
販売費及び一般管理費	6,228	7,640
② 営業利益	4,069	4,490
営業外収益	164	459
営業外費用	170	100
③ 経常利益	4,063	4,848
特別利益	5	17
特別損失	15	29
税金等調整前四半期純利益	4,053	4,837
法人税、住民税及び事業税	1,072	1,259
法人税等調整額	325	165
四半期純利益	2,655	3,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	283
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	2,533	3,128

四半期連結包括利益計算書(累計)

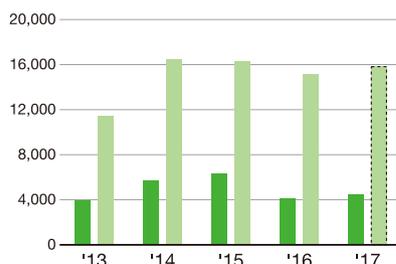
(単位:百万円)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)	第53期第1四半期 (2016.11.1~2017.1.31)
四半期純利益	2,655	3,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 401	304
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	32	△ 54
退職給付に係る調整額	—	△ 0
その他の包括利益合計	△ 368	250
四半期包括利益	2,286	3,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,165	3,371
非支配株主に係る四半期包括利益	121	290

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

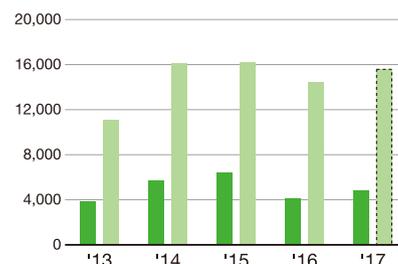
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第52期第1四半期 (2016.1.31)	第53期第1四半期 (2017.1.31)
(資産の部)		
流動資産	84,265	87,471
固定資産	125,615	139,400
有形固定資産	117,841	129,029
無形固定資産	338	1,262
投資その他の資産	7,435	9,108
⑤ 資産合計	209,881	226,872
(負債の部)		
流動負債	70,136	70,760
固定負債	66,167	72,098
負債合計	136,304	142,859
(純資産の部)		
株主資本	69,424	76,526
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	42,983	50,085
自己株式	△ 2,128	△ 2,129
その他の包括利益累計額	1,622	2,468
その他有価証券評価差額金	1,546	2,349
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	75	110
退職給付に係る調整累計額	—	8
非支配株主持分	2,530	5,018
⑥ 純資産合計	73,577	84,013
負債純資産合計	209,881	226,872

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送していただいた方の中から、抽選で50名様にノベルティグッズをお贈りします。

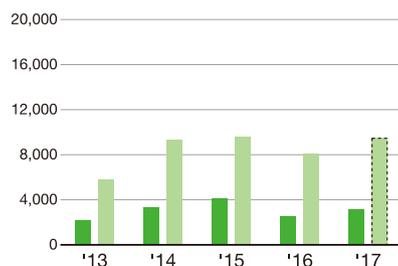
今号は、ゼブラ社製の多機能ペン「Clip-on multi (クリップオン マルチ)」をプレゼントいたします。「黒・青・赤・緑の4色ボールペン+シャープペンシル」の5機能モデルだから打ち合わせや外出時もこれ1本でとても便利! シャープペンシルのノックにもなっているクリップ部分に、当社アライアンスグループロゴを印刷したオリジナルバージョンとなっています。



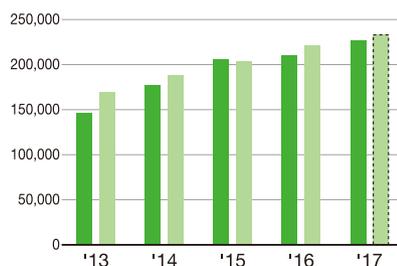
サイズ：軸径14.0×全長148.5mm
重量：15.4g

ご応募の締め切りは2017年5月19日(金) 当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

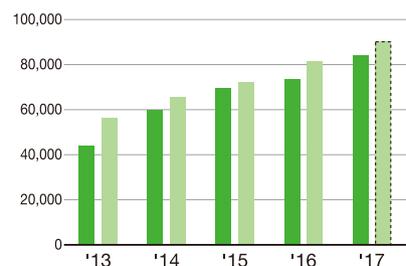
④ 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

1Q	2016.11	代表取締役会長に金本寛中が、代表取締役社長に金本哲男が就任	  
		当社子会社の株式会社KGフローテクノがベトナムの現地法人「FECON UNDERGROUND CONSTRUCTION JOINT STOCK COMPANY (FECON UCC)」に出資	
		ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 広島で講演	
		北海道日本ハムファイターズ優勝パレードに協賛	
		ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 名古屋で講演	
2016.12	久慈営業所 (岩手県久慈市) を開設	 	
	第52期 (2016年10月期) 決算発表		
	【東京】第52期決算説明会を実施 (機関投資家向け)		
	野村IR資産運用フェア2016に出展 (東京国際フォーラム)		
	北海道開発局から大雨災害の復旧協力企業として表彰		
2017.1	「JPX 日経中小型株指数」に当社株式が構成銘柄として選定	 	
	剰余金の配当について発表		
2017.1	第52回定時株主総会を開催		

2Q	2017.2	ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 大阪で講演	 
	2017.3	東証IRフェスタ2017に出展 (東京国際フォーラム)	
2017.3	富岡営業所 (福島県双葉郡富岡町) をリニューアルオープン		
	第53期 (2017年10月期) 第1四半期決算発表		
2017.4	日高機械センター (北海道沙流郡日高町) を開設		
	入社式・新入社員研修を実施 (2017年度の新入社員は64名)		
2017.4	ラジオNIKKEI ジャパンツアーIR in 那覇で講演		



カナモトサンクスフェア2017 開催カレンダー

今年も「カナモトサンクスフェア」を開催します。下のカレンダーで開催予定をチェックいただき、お近くで開催の際はぜひご来場を! 皆様のお越しをお待ちしております。

○ カナモト営業所 □ グループ企業



開催日は予定となります。諸般の事情で変更となる場合がございます。お越しの際は、事前に当社ホームページでご確認をお願いいたします。

<http://www.kanamoto.co.jp>

会社概要

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	136億52百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,448億70百万円(2016年10月期)
連結従業員数	2,944名(2016年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社

役員 (2017年2月1日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	常勤監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	卯辰 伸人**	監査役	橋本 昭夫
	成田 仁志*		辻 清宏
	金本 龍男*		直井 暁
	平田 政一*		曾我 浩司
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	長崎 学*		問谷 悟
	麻野 裕一*		北川 健
	棕梨 直樹*		渡部 純
	橋口 和典*		佐藤 信幸
	内藤 進		
	及川 雅之		
	米川 元樹		

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
(注2) **印の取締役は専務執行役員を兼任しております。
(注3) 取締役内藤進氏及び取締役及川雅之氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。
(注4) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井暁氏並びに監査役曾我浩司氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>

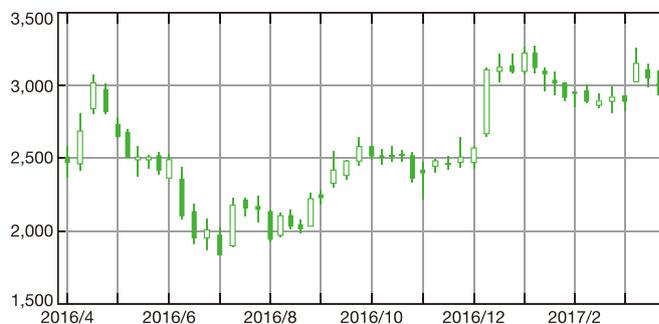
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位:円



R100
古紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 力十

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社
〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19
Tel: (011) 209-1600 (大代表)

営業統括本部
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7
Tel: (03) 5408-5600

<http://www.kanamoto.co.jp>

